

将来像「魅力産業創造都市いわた」

1-1 進捗度

重点施策

基本目標 1 まちのにぎわいと交流を促進します！（商業・サービス業・観光・交流）



施策 1-1 スポーツを活かしたにぎわい創出

No	事務事業名	主担当課 副担当課	事業概要	平成30年度	令和元年度実績	令和2年度予定	進捗度	令和3年度予定	成果・課題など	見直し	今後の対応 【一部見直し、見直しの場合】
1	スポーツ資源のネットワーク化とおもてなし情報の発信強化	商業観光G スポーツ振興課	・イベント、施設、団体、人材等のネットワーク化、スポーツ客への観光商品や食事、宿泊施設、スポーツ施設等の情報提供	・スポーツ振興課との情報共有 ・宿泊施設への観光ガイドブック等の配架 ・宿泊施設との情報共有、意見交換 ・「世界のあいさつ4か国語」の作成・配布 ・交流センターにおける英会話及びラグビー講座の開催	・市内観光施設、宿泊施設等との情報交換及びガイドブックなどの配架依頼 ・ラグビーW杯関連イベント等を通じた情報発信 ・交流センター等におけるラグビー講座の開催	・市内観光施設、宿泊施設等との情報交換及びガイドブックなどの配架依頼 ・交流センター等におけるオリンピックパレンピック講座の開催	A	・観光施設、宿泊施設等の連携による情報発信、情報共有、イベントなどの事業展開	・スポーツ関連団体、企業との情報共有を強化し、更なる連携を図る。 ・オリンピックなどビッグイベントには制約が多いため、事業展開に多方面との調整が必要		
2	アウトドアスポーツを活用した市内回遊の推進	商業観光G	・静岡遠州観光ネットワークと連携したサイクルツーリズムの推進、ウォーキングコースの整備	・静岡遠州観光ネットワーク主催サイクリング事業の実施(年2回) ・大池ウォーキングコースの整備 ①県観光施設整備事業補助金 ②観光案内看板設置 ・大池に自転車ビット機能の整備 ①空気入れ ②チューブの販売	・静岡遠州観光ネットワーク主催サイクリング事業の実施(年2回:春→開催、秋→講習会) ・オートキャンプ場、獅子ヶ鼻トレッキングコースのPR ・駅前レンタサイクルの実施支援	・静岡遠州観光ネットワーク主催サイクリング事業の実施(年2回:春、秋→中止) ・オートキャンプ場、獅子ヶ鼻トレッキングコースのPR ・駅前レンタサイクルの実施支援	A	・静岡遠州観光ネットワーク主催サイクリング事業の実施(年2回) ・オートキャンプ場、獅子ヶ鼻トレッキングコース、大池ウォーキングコースのPR ・者の交流館に自転車ビット機能整備	・市内回遊推進のための資源の掘り起こし、情報発信などのPR方法の検討		
3	オリジナル商品・サービスづくりの支援	商業観光G	・店主やスポーツ関連企業等と連携した名産品、グッズ(一店逸品)等の提供、販売の支援	・しっぺいとジュピロのコラボしたぬいぐるみをジュピロホームゲームで継続販売(観光協会グッズ)	・いわた茶缶の販売PRをジュピロホームゲームなどで実施 ・しっぺいとジュピロとコラボしたぬいぐるみを継続販売(観光協会グッズ)	・いわた茶缶の販売PRをジュピロホームゲームなどで実施 ・しっぺいとジュピロとコラボしたぬいぐるみを継続販売(観光協会グッズ)	A	・魅力ある事業、コラボ企画など、スポーツに來られた方や観戦客などに対しても、魅力を感じてもらえる商品づくりを支援	・スポーツ観戦客へのPR手法の検討 ・新しいコラボグッズの開発		
4	全国規模の大会・イベントの誘致に伴う集客促進	商業観光G スポーツ振興課	・サッカー、ラグビー、サーフィン等のスポーツ大会開催時の誘客	・ジュピロとの連携によるホームゲームでのしっぺいの出演 ・ヤマハ発動機ジュピロ(ラグビー)でのしっぺい出演 ・U-12サッカー大会の選手受入家庭への観光パンフレット配布	・ジュピロホームゲームでのしっぺい出演とイベントチラシの配布 ・ヤマハ発動機ジュピロ試合時でのしっぺい出演 ・U-12サッカーの選手受入家庭への観光パンフレット配布 ・ラグビーW杯おもてなしエリアでのしっぺい出演およびパンフレット配布 ・ジュニアサーフィン選手権開会式でのしっぺい出演	・ジュピロホームゲームでのしっぺい出演とイベントチラシの配布 ・ヤマハ発動機ジュピロ試合時でのしっぺい出演 ・U-12国際サッカー大会ホストファミリーへの観光パンフレット配布(大会中止により未実施)	B	・東京オリンピックパラリンピックを見据え、スポーツ振興課と連携したイベント共催や情報発信 ・周遊促進を図るための、店舗サービス情報の提供	・スポーツ選手や観戦客を対象にした効果的な周遊手法の検討 ・各種施設や団体との連携方法や効果的な事業展開の検討		
5	スポーツ合宿誘致に向けたPR(H30～)	商業観光G スポーツ振興課	・トレーニング環境や事前合宿のPR	・U7卓球選手育成事業プロジェクトの開催 ・ラグビーWC公認チームキャンプ地の決定 ・トランポリン女子スイス代表合宿の対応	・ラグビーW杯公認チームキャンプ地の対応 ・東京2020オリンピックパラリンピック事前合宿誘致の取組 ・U7卓球選手育成プロジェクト合宿者への観光PR ・世界トランポリン選手権アメリカ代表チーム合宿者への観光PR ・世界トランポリン選手権タムプリング日本代表合宿者への観光PR	・東京2020オリンピックパラリンピック事前合宿誘致の取組 ・東アジア選手権サッカー日本代表合宿者への観光PR	B	・スポーツ振興課、各スポーツ施設等との情報共有、PR方法の検討、誘致先の選定など	・誘致先の選定や施設との連携 ・専用卓球場など磐田市独自の施設を活用していきたいが、市民利用との調整が必要		

数値目標と効果

指標(効果)	基準値(平成27年度末)	最新値(令和元年度末)	目標値(令和3年度末)
観光交流客数 (商業・サービス業の売上増加)	357万人	366万人	400万人

経済観光課調べ

将来像「魅力産業創造都市いわた」

基本施策

基本目標 1 まちのにぎわいと交流を促進します！（商業・サービス業・観光・交流）

1-2 進捗度



施策 1-2 まちの活性化とおもてなし環境の整備

No	事務事業名	主担当課 副担当課	事業概要	平成30年度	令和元年度実績	令和2年度予定	進捗度	令和3年度予定	成果・課題など	見直し	今後の対応 【一部見直し、見直しの場合】
6	磐田駅前楽市(軽トラ市)開催支援	商業観光G	・軽トラ市の定期開催による中心市街地の活性化支援	・年4回の定期開催(5、9、12、3月)	・年4回の定期開催(5、9、12、3月) ※3月はコロナ禍により中止	・年4回の定期開催(5、9、12、3月) ※5、9月はコロナ禍により中止	A	・年4回の定期開催	・既存商店との連携を継続しつつ、大型商業施設などとも連携 ・平時の商店街への誘客に繋げる方策		
7	商店街活性化事業・美化事業の支援	商業観光G	商店街団体等が実施する活性化事業、施設美化事業の支援	・駅北口広場の賑わいイルミネーション事業への支援 ・高校生提案のしっぺいイルミネーションの設置 ・商店街美化事業として、遠江国分寺商店会に街路灯LEDへの改修支援(1件)	・駅北口広場の賑わいイルミネーション事業への支援 ・銀三会共同アーケード及び街路灯の撤去支援	・駅北口広場の賑わいイルミネーション事業への支援	B	・駅北口広場の賑わいイルミネーション事業や新たな賑わい創出のための事業支援、商店街美化事業の支援	・駅前の商店街活性化のための効果的な支援方法を検討 ・やる気ある若手店主等の発掘 ・老朽化したアーケードや街路灯への対応の検討		
8	駅北広場等を活用したにぎわい創出の実施	商業観光G	・市民との協働による定期的なイベント開催	・任意団体によるテント販売、軽トラ市、移動販売車、イルミネーション、クリスマスイベントなどで活用(年62回使用)	・任意団体によるテント出店、軽トラ市やJCのイベント企画(星空映画館など)、ハロウィンイベント、イルミネーション事業の実施	・任意団体によるテント出店、軽トラ市やJCのイベント企画、イルミネーション事業の実施 ・七重の塔モニュメントの改修	A	・軽トラ市、任意団体、移動販売車、各種イベント等での活用	・継続的な賑わいづくりの検討 ・やる気ある若手店主等の発掘と活動の場づくりへの支援		
9	イメージキャラクターの活用	商業観光G	・しっぺいを活用した観光情報の発信、企業と連携したキャラクターデザインの利用促進	・しっぺいによる市内外のイベントでのプロモーション活動を実施 ・応援カンパニーに「しっぺい音頭」CDを配布し、普及促進	・市内イベントでの観光PR ・しっぺい音頭普及のため、市内各地へ訪問し指導、夏祭イベントでも披露 ※コロナ禍により中止 ・「しっぺいグッズデザイン公募」の実施 ・しっぺい感染予防啓発素材の作成	・市内外イベントでの観光PR ・しっぺい音頭普及のため、市内各地へ訪問し指導、夏祭イベントでも披露 ※コロナ禍により中止 ・「しっぺいグッズデザイン公募」の実施 ・しっぺい感染予防啓発素材の作成	A	・イベント、ツイッターを中心とした情報発信 ・しっぺいを活用した市内観光施設への周遊促進事業の実施 ・使用手続きの簡素化によるデザイン利用数の増加	・しっぺい音頭の普及 ・シティプロモーションを目的としたイベント参加の継続 ・しっぺいファンに磐田市訪問を促す取組みの強化		
10	「食」を活用したにぎわいづくり	商業観光G	・観光客ニーズのある「食」に係る情報発信や旅行商品、イベントとのタイアップ	・静岡市で開催された食のイベントにおいて、海老芋コロッケのPRを実施した ・掛川PAIにおいて、敷地の柿の販売を行った	・いわた茶缶のPR ・DC(JR6社が企画する大型観光キャンペーン)でのお茶を使ったPR	・いわた茶缶のPR ・観光情報誌「Kitemi」を活用した食のPR	A	・磐田市を代表する食の探求及びPR	・渚の交流館における地元食材の提供 ・地元食材を提供する飲食店の不足と商品開発者の育成及び支援		
11	磐田市観光協会への支援と協働での観光PR	商業観光G	・観光協会への支援と市、協会の連携による観光振興の推進	・交流センター主催の歴史ウォーキングへの支援 ・長藤まつりや磐田歴史検定の実施 ・市内案内マップの作成	・DC(JR6社が企画する大型観光キャンペーン)商品企画やPRなど広域での取組み ・歴史ウォーキングや観光大使コンテストなど自主事業の実施 ・歴史検定の継続実施	・DC(JR6社が企画する大型観光キャンペーン)商品企画やPRなど広域での取組み ・歴史ウォーキングや古文書講座など自主事業の実施 ・歴史検定の継続実施	A	・観光協会への支援と市、協会の連携による観光振興の推進	・観光協会の自主事業拡大に向けての支援		
12	サービス業やオフィス業の誘致など商店街の活性化に対する支援	商業観光G 雇用促進G	・商店会等が行う店舗等誘致への支援、民間主導のリノベーションへの支援	・H30.9月に、中心市街地の市有財産を活用し、飲食店(パン販売、カフェ)のオープンを支援	・新規創業者等に対して空き店舗等の調査結果の情報提供	・空き店舗等の調査を、中泉のほか、市内の商店街のあるエリアに規模を拡大し、新規創業者とのマッチングを視野に実施	B	・遊休不動産の利活用促進にむけて、情報収集と新規創業者とのマッチング事業を実施することで、新しい人材を商店街へ参入させ、にぎわい創出のきっかけづくりを実施	・やる気ある若手店主等の発掘、人材確保 ・空き店舗の情報提供と不動産オーナーの貸借に対する理解の働きかけ		
13	体験型観光を中心とする産業観光のPR	商業観光G	・観光資源を発掘・整理し、観光客ニーズの高い体験型観光(主に農業)の商品化	・体験観光チラシの作成、イベント時での配布	・各種体験観光の見直し	・各種体験観光の実態把握調査	B	・体験型観光のPRと継続実施が可能な体験の掘り起こし	・受入先へのサポートの検討(一般的な農家や店舗では観光客の受入は困難)		
14	外国人観光客受入環境の整備	商業観光G	・外国語表記看板の設置や公衆通信環境などの整備 ・インターネットの多言語閲覧表記などの整備	・大池への観光誘導看板の多言語化	・見付駐車場観光案内看板の多言語化	・静岡県インバウンド多言語コールセンターの活用	B	・観光協会ホームページの多言語化	・小売業や受入施設などの外国人の受入体制の未整備 ・ホームページの多言語化には取組み中		
15	ボランティアガイドの育成と活動拡大	商業観光G	・各種研修への参加、学生ボランティアの参画などの取り組み推進	・磐田市観光協会で行う歴史検定の共催 ・ガイドウォーク事業	・ボランティアガイドによる「見付宿のしい文化展」での、製作体験企画の実施と継続実施の支援 ・磐田市観光協会で行う歴史検定の共催 ・ガイドウォーク事業	・ボランティアガイドによる「見付宿のしい文化展」での、製作体験企画の実施と継続実施の支援 ※コロナ禍により中止 ・磐田市観光協会で行う歴史検定の共催 ・ガイドウォーク事業	B	・イベントとのコラボ事業や自主事業への支援、新たなボランティアガイドの育成	・高齢化も進んでおり、新たなボランティアの育成が必要		

将来像「魅力産業創造都市いわた」

1-3 進捗度

基本施策

基本目標 1 まちのにぎわいと交流を促進します！（商業・サービス業・観光・交流）

施策 1-3 やる気ある個店等への支援

A：順調，  
20%

B：概ね順調，  
80%

No	事務事業名	主担当課 副担当課	事業概要	平成30年度	令和元年度実績	令和2年度予定	進捗度	令和3年度予定	成果・課題など	見直し	今後の対応 【一部見直し、見直しの場合】
16	磐田まちめぐりゼミナール事業	商業観光G	店主が講師となってプロならではの「コツ」や「知識」を無料で教えてくれるミニ講座を開催することにより、個店や店主を知ってもらいきっかけづくりにもなる事業への支援	・「まちゼミフェア」開催（H30.7） ・「まちゼミ」の開催（8月～9月、2月～3月） ・実行委員会の立ち上げと実行委員会と連携した、まちゼミ、まちゼミフェアの開催	実行委員会と連携した、まちゼミの開催	実行委員会と連携した、まちゼミの開催 ※事務局が市から商工会議所へ	A	継続（同左）	・実行委員会と連携したまちゼミの開催と自主的運営への支援 ・令和2年度から実行委員会による自主的運営へ切替。事務局は商工会議所。	全部	自主的な事業運営へ切替
17	若手事業者や新たな店主組織への支援	商業観光G	若手事業者による市内広域的な組織による商業振興事業への支援	・先進地視察 ・見付地区で実施していた「あきんどの日」を磐田商工会連盟と連携して、全市的に実施（磐田・福田・竜洋・豊田・豊岡）市内の個店を知ってもらいきっかけづくりを行った。	・いわたあきんど大感謝祭の継続実施	・いわたあきんど大感謝祭の継続実施	B	核となるものができるまでの駅前商店街有志（若手）による事業支援	・駅前の商店街活性化のための効果的な事業展開の検討 ・高齢化による担い手不足への対応 ・やる気ある若手店主等の発掘と募集	一部	市予算は令和元年度から計上無し
18	コラボチャレンジショップ事業	商業観光G 雇用促進G	既存商店を間借りし、参加者と店主が協力して商売を実施	見付宿たのしい文化展にてコラボショップを実施（8店舗、9件）	・11月の見付宿たのしい文化展にてコラボショップを実施予定 ・女性起業家育成講座卒業生やはじまりのオフィス会員との連携	・11月の見付宿たのしい文化展にてコラボショップを実施予定 ※コロナ禍により中止 ・女性起業家育成講座卒業生やはじまりのオフィス会員との連携	B	見付地区以外にも中泉地区や他地区においてもコラボショップができるよう検討	・商店会連盟等の組織が主体となった活動地域の拡大		
19	オリジナル商品・サービスづくりの支援（No.3再掲）	商業観光G	店主やスポーツ関連企業等と連携した名産品、グッズ（一店逸品）等の提供、販売の支援	しっぺいとジュピロのコラボしたぬいぐるみをジュピロホームゲームで継続販売（観光協会グッズ）	・いわた茶缶の販売PRをジュピロホームゲームなどで実施 ・しっぺいとジュピロとコラボしたぬいぐるみを継続販売（観光協会グッズ）	・いわた茶缶の販売PRをジュピロホームゲームなどで実施 ・しっぺいとジュピロとコラボしたぬいぐるみを継続販売（観光協会グッズ）	B	魅力ある事業、コラボ商品企画など、スポーツに來られた方や観戦客などに対しても、魅力を感じてもらえる商品づくりを支援	・スポーツ観戦客へのPR手法の検討 ・新しいコラボグッズの開発		
20	個店PR事業	商業観光G	店主、団体等が行うお店（人、もの、技）のPR事業への支援	実績なし	新規出店を後押しする目的で店舗のラジオ出演や取材メモ等による発信 販売場所として磐田駅前北口広場の活用案内	新規出店を後押しする目的で店舗を取材し、各種媒体で発信	B	優れた店主をリストアップし、県やメディア媒体などを利用し、広くPRしていく	・新規出店者ラジオ出演やメディアによるPR ・創業者や新規出店の把握		

基本目標 2 ものづくり産業の競争力を確保します！（工業）



施策 2-1 クルマ・バイク産業の振興

No	事務事業名	主担当課 副担当課	事業概要	平成30年度	令和元年度実績	令和2年度予定	進捗度	令和3年度予定	成果・課題など	見直し	今後の対応 【一部見直し、見直しの場合】
21	「がんばる企業応援団」による企業のニーズ収集と支援	産業振興G	・定期的な市内企業訪問による市政情報の提供、企業ニーズ収集と迅速な企業対応	訪問企業数188社 訪問職員数63班126名 第1回訪問H30.6～8 第2回訪問H30.11～H31.2	訪問企業数187社 訪問職員数63班126名 第1回訪問R1.6～8 第2回訪問R1.11～R2.2	訪問企業数190社 訪問職員数64班128名 第1回訪問R2.6～8 第2回訪問R2.11～R3.1予定 (新型コロナウイルスの影響で訪問方式をとらないこともある)	A	・年間2回の訪問継続	・市政情報等の提供、雇用や業況情報の把握、企業ニーズの収集を実施 ・新型コロナウイルスの影響で実施方法の検討が必要		
22	新産業創出等を支援する機関との広域連携の推進	産業振興G	・次世代自動車、新エネルギー、航空宇宙など新規分野参入に意欲のある企業が集い、イノベーションを促進	・ものづくり企業交流会(H31.3.15、参加者82名) ・低速自動運転車両の実証実験に関する連携協定締結 ・企業懇話会全7回開催(次世代自動車の技術動向セミナー等)	・広域連携推進事業の実施(次世代自動車センター等を含む) ・低速自動運転車両の実証実験開始(7月から御厨駅北側地区でスタート) ・企業懇話会との連携	・広域連携推進事業の実施(次世代自動車センター等を含む) ・低速自動運転車両の実証実験実施(御厨駅北側地区で継続) ・ロボット教示スクール実施	A	・継続(同左) ロボット教示スクールは見直し	・浜松地域イノベーション推進機構等と連携して、新産業創出、新分野参入に関する事業を実施 ・低速自動運転車両の実証実験について順次ステップを踏んで実施		
23	展示商談会へ出展する中小企業等への支援	産業振興G	・国内外の展示商談会へ出展する費用の一部を補助	交付決定件数32件 交付決定額2,796,000円	交付申請決定件数31件 交付決定額2,851,000円	当初 申請見込み22件、見込み額3,000,000円 8月末現在:0件、0円 ⇒「販売力強化補助金」として模様替え(予算額5,000,000円)	B	・「販売力強化補助金」に変更 展示商談会出展に加えて、新製品・新サービスの開発、新たな販路開拓に関する取り組みを支援(経費の1/3対象 上限100万円)	・新型コロナウイルスの影響で産業展示会が軒並み実施延期または中止されていることによる制度変更 ・新制度の幅広い周知が必要 ・適正な予算規模の検討	一部	展示商談会出展に加えて、新製品・新サービスの開発、新たな販路開拓に関する取り組みを支援
24	専門家派遣事業(磐田版おせっかいモデル事業)	産業振興G	・中小企業等の経営課題解決に向けてコーディネーターなどの専門家を派遣し、徹底したサポートを実施	・静岡県よろず支援拠点専門家との企業訪問(月2回) ・浜松地域イノベーション推進機構、商工会議所との企業訪問(随時) ・専門家派遣制度(講師派遣71回)	・静岡県よろず支援拠点専門家との企業訪問(月1回) ・浜松地域イノベーション推進機構、商工会議所との企業訪問(随時) ・専門家派遣制度(講師派遣89回)	・静岡県よろず支援拠点専門家との企業訪問(月2回)IoT化、web追加 ・浜松地域イノベーション推進機構、商工会議所との企業訪問(随時) ・専門家派遣制度(講師派遣90回)	A	・継続(同左)	・新型コロナウイルスの影響下での事業模索 ⇒webマーケティング専門家による相談を拡充 ⇒対面にこだわらず、web方式を活用		
25	広域ビジネスマッチング	産業振興G	・浜松地域イノベーション推進機構、静岡県産業振興財団、静岡県よろず支援拠点など支援機関等の広域ネットワークを活用したマッチング	・ものづくり企業交流会(H31.3.15、参加者82名) 主催:磐田市 共催:掛川産業人クラブ 協力:浜松地域イノベーション推進機構	・実施なし	・新型コロナウイルスの影響で見合せ	C	・企業交流会開催の検討 ・広域マッチング機会提供方法の検討	・テーマを選定し、他支援機関等との連携、調整を継続		
26	中核企業のニーズ収集と支援(H30～)	産業振興G	・RESAS(リーサス)による地域経済をけん引する中核企業の把握とニーズ収集	・中核企業への企業訪問(随時)	・中核企業のリスト化 ・中核企業の企業訪問とニーズ収集	・中核企業のリスト化 ・中核企業の企業訪問とニーズ収集	B	・中核企業の企業訪問とニーズ収集を継続	・RESAS(リーサス)システムの実務での利用が進んでいない ・新型コロナウイルスの影響で企業訪問が困難	一部	RESAS(リーサス)システムの実務での利用方法の検証が必要

数値目標と効果

指標(効果)	基準値(平成27年度末)	最新値(令和元年度末)	目標値(令和3年度末)
輸送用機械器具製造業の製造品出荷額等(ものづくり産業の安定化)	842,817百万円/年	827,032百万円/年	850,000百万円/年

令和元年版磐田市統計書より

将来像「魅力産業創造都市いわた」

基本目標 2 ものづくり産業の競争力を確保します！（工業）

施策 2-2 経営基盤の安定化と支援体制の強化

2-2 進捗度

A：順調,  
72%

B：概ね順調,  
14%

D：その他,  
14%

基本施策

No	事務事業名	主担当課 副担当課	事業概要	平成30年度	令和元年度実績	令和2年度予定	進捗度	令和3年度予定	成果・課題など	見直し	今後の対応 【一部見直し、見直しの場合】
27	融資・利子補給制度	産業振興G	・経済変動対策貸付資金等に対する利子補給	・経済変動対策貸付資金 (10件、補助金額264,800円) ・開業パワーアップ支援資金 (8件、補助金額 91,600円)	・経済変動対策貸付資金 (4件、補助金額63,100円) ・開業パワーアップ支援資金 (8件、補助金額 116,100円)	経済変動対策貸付資金にかかる ・売上減少認定申請 (約1,260件、8月末現在) ・利子補給事前申込受付承認(継続実施) (約270件、8月末現在) ・利子補給金の交付	A	・継続(同左)	・新型コロナウイルスの影響で制度利用申し込み が激増していることによる事務負担等の増		
28	BCP策定支援事業	産業振興G	・静岡県や組合支援機関などと連携したBCP策 定等経営計画の支援	・市HPから静岡県の取り組みを紹介 「静岡県のBCP(事業継続計画)に対する各種支 援について」	・市HPから静岡県の取り組みを紹介 「静岡県のBCP(事業継続計画)に対する各種支 援について」	・市HPから静岡県の取り組みを紹介 「静岡県のBCP(事業継続計画)に対する各種支 援について」	B	・継続(同左)			
29	地場産業振興事業	雇用促進G	・ふるさと納税制度を活用した産地固有商品の販 促、綿、麻など繊維製品のPR	・ふるさと納税による布製品の返礼 (13件、218,000円) ・武蔵衣展示即売会の開催(H30.6.29) ・天龍社、商工会、静岡県繊維協会へ補助金、負 担金を交付	・各種団体との連携、HP等の媒体を活用したPRの促 進 ・ふるさと納税による布製品の返礼 (125件、368,200円) ・天龍社、商工会、静岡県繊維協会へ補助金、負担金 を交付 ・観光クルーズ船の寄港イベントにコーデュロイハウス が来店した。	・各種団体との連携、HP等の媒体を活用したPRの促 進 ・ふるさと納税による布製品の返礼 ・天龍社、商工会、静岡県繊維協会へ補助金、負担金 を交付 ・本庁、磐田市情報館で遠州織物マスクの販売会を開 催 ・磐田オータムコレクションの開催	A	・各種団体との連携、HP等の媒体を活用したPR の促進 ・ふるさと納税による布製品の返礼 ・天龍社、商工会、静岡県繊維協会へ補助金、負 担金を交付	・遠州織物(コーデュロイ)の魅力発信の方法を検討 し、観光クルーズ船の寄港イベントへの出店を実 施。遠州織物のPRにつながった。		
30	「がんばる企業応援団」による企 業のニーズ収集と支援(No.21再 掲)	産業振興G	・定期的な市内企業訪問によるニーズ収集と迅 速な企業対応	訪問企業数188社 訪問職員数63班126名 第1回訪問H30.6～8 第2回訪問H30.11～H31.2	訪問企業数187社 訪問職員数63班126名 第1回訪問R1.6～8 第2回訪問R1.11～R2.2	訪問企業数190社 訪問職員数64班128名 第1回訪問R2.6～8 第2回訪問R2.11～R3.1予定 (新型コロナウイルスの影響で訪問方式をとら ないこともある)	A	・年間2回の訪問継続	・市政情報等の提供、雇用や業況情報の把握、 企業ニーズの収集を実施 ・新型コロナウイルスの影響で実施方法の検討 が必要		
31	事業承継支援事業	産業振興G	・協定締結機関と連携した市内中小企業の事業 承継支援	・事業承継等の諸問題の把握 ・事業承継支援に係る連携協定締結(H30.11.29)	・事業承継支援ネットワーク会議の開催 (H31.4.24、R2.2.4) ・事業承継支援キックオフセミナー2019の開催 (R1.5.24) ・事業承継支援ネットワーク進捗ミーティング (R1.8.21) ・セミナー等による支援を要する企業の掘り起こ し	・事業承継支援ネットワーク会議の開催 (R2.9.4) ・事業承継支援セミナーの開催 (R2.11.18) ・支援を要する企業の掘り起こし	A	・継続(同左)	・案件により状況は千差万別であり、専門家によ る課題解決への手助けが必要 ・新型コロナウイルスの影響で事業承継支援に かかる訪問、診断が困難		
32	産業支援スペースの整備検討	雇用促進G	・産業に関する研究や情報収集のための相談、 商談スペースなどの整備を検討	・実績なし	・関係機関(商工業者団体)からの整備に関する 要望の取り下げ書を受理	・検討中止	D	・検討中止	・関係機関(商工業者団体)から、整備に関する 要望の取り下げがなされたため、検討を中止	全部	検討を中止
33	助成制度の充実(H30～)	企業立地推進G 産業振興G	・企業の設備投資等を対象とした選考型の補助 制度の構築	・生産性向上特別措置法の活用 ①先端設備等導入に関する導入促進基本計画 を策定 ②固定資産税条例の改正 ③先端設備等導入計画の認定(77件)	・中小企業の先端設備導入の支援 ①先端設備等導入計画の認定(75件)	・中小企業の先端設備導入の支援 ①先端設備等導入計画の認定 (11件:8月末現在)	A	・継続(同左) (令和5年3月末まで)	・平成30年7月に施行された生産性向上特別措 置法を活用して、中小企業の先端設備等導入の 支援体制を整備		

基本目標 2 ものづくり産業の競争力を確保します！（工業）

2-3 進捗度



施策 2-3 ビジネスチャンスの創出

No	事務事業名	主担当課 副担当課	事業概要	平成30年度	令和元年度実績	令和2年度予定	進捗度	令和3年度予定	成果・課題など	見直し	今後の対応 【一部見直し、見直しの場合】
34	産業振興フェアの開催	雇用促進G 産業振興G	・広域、異業種交流による企業間連携の促進	・180社出展 ・H30.11.9～10開催	・180社出展（R1.11.8～9開催） ・講演会等開催 ①パネル討論会 「次世代輸送機器の動向と対応」 ②講演会「ものづくりIoT化の進め方」 ③技術相談会「光・電子技術他」	・ガイドブック及びwebサイトの作成 ・講演会等 ①パネル討論会 「健康、食、スポーツで地域貢献」 ②IoT活用セミナー ③オンライン交流会 「静岡県の研究所と企業を結ぶ」	A	・開催予定	・新型コロナウイルスの影響で開催方法の見直しが必要 ・参加企業の連携実績を把握すること		
35	国内バイヤー等との商談会の実施	産業振興G	・首都圏バイヤー等との個別商談会の実施	・通販バイヤーとの商談会(H30.9.26) ・静岡おみや首都圏商談会(2社、H31.2.25)	・食品バイヤー等との商談会(R2.2.7) 食品バイヤー12社、生産者27社、商談成立5件	・食品バイヤー等との商談会を実施予定	A	・実施未定	・商談成立案件の創出 ・販路開拓に意欲的な事業者の掘り起し ・商談会以外の手法検討		
36	展示商談会へ出展する中小企業等への支援(No.23再掲)	産業振興G	・国内外の展示商談会へ出展する費用の一部を補助	交付決定件数32件 交付決定額2,796,000円	交付申請決定件数31件 交付決定額2,851,000円	当初 申請見込み22件、見込み額3,000,000円 8月末現在:0件、0円 ⇒「販売力強化補助金」として模様替え (予算額5,000,000円)	B	・「販売力強化補助金」に変更 展示商談会出展に加えて、新製品・新サービスの開発、新たな販路開拓に関する取り組みを支援 (経費の1/3対象 上限100万円)	・新型コロナウイルスの影響で産業展示会が軒並み実施延期または中止されていることによる制度変更 ・新制度の幅広い周知が必要 ・適正な予算規模の検討	一部	展示商談会出展に加えて、新製品・新サービスの開発、新たな販路開拓に関する取り組みを支援
37	専門家派遣事業(磐田版おせつかいモデル事業)(No.24再掲)	産業振興G	・中小企業等の経営課題解決に向けてコーディネーターなどの専門家を派遣し、徹底したサポートを実施	・静岡県よろず支援拠点専門家との企業訪問(月2回) ・浜松地域イノベーション推進機構、商工会議所との企業訪問(随時) ・専門家派遣制度(講師派遣71回)	・静岡県よろず支援拠点専門家との企業訪問(月1回) ・浜松地域イノベーション推進機構、商工会議所との企業訪問(随時) ・専門家派遣制度(講師派遣89回)	・静岡県よろず支援拠点専門家との企業訪問(月2回)IoT化、web追加 ・浜松地域イノベーション推進機構、商工会議所との企業訪問(随時) ・専門家派遣制度(講師派遣90回)	A	・継続(同左)	・新型コロナウイルスの影響下での事業模索 ⇒webマーケティング専門家による相談を拡充 ⇒対面にこだわらず、web方式を活用		
38	海外市場の販路開拓	産業振興G	・食の海外輸出に対する支援、海外姉妹都市(アメリカ・マウンテンビュー市)との産業交流の促進	・ベトナムハノイでのビジネスマッチングにて市内7事業者と現地経営者とのマッチング(H30.10.19) ・海外販路開拓に意欲的な中小企業への個別支援	・マウンテンビュー市との産業交流にて2事業者による販路開拓を支援(R1.9.4～9.10) ・海外販路開拓セミナーの実施(11月) ・ベトナムホーチミンでのビジネスマッチングにて市内6事業者と現地経営者とのマッチング(R1.11.22)	・現状、マウンテンビュー市との情報交換のみ(不織布マスクの提供)	B	・中小企業の海外販路開拓支援の仕組みづくり(民間企業同士のスキーム)	・海外輸出案件の創出 ・海外企業とのビジネスマッチング事例の創出		
39	広域ビジネスマッチング(No.25再掲)	産業振興G	・浜松地域イノベーション推進機構、静岡県産業振興財団、静岡県よろず支援拠点など支援機関等の広域ネットワークを活用したマッチング	・ものづくり企業交流会(H31.3.15、参加者82名) 主催:磐田市 共催:掛川産業人クラブ 協力:浜松地域イノベーション推進機構	・実施なし	・新型コロナウイルスの影響で見合せ	C	・企業交流会開催の検討 ・広域マッチング機会提供方法の検討	・テーマを選定し、他支援機関等との連携、調整を継続		

将来像「魅力産業創造都市いわた」

基本目標 3 未来をひらく新たな産業を創出します！（企業立地・新産業・創造）

施策 3-1 次世代型農水産業の推進

3-1 進捗度

重点施策



No	事務事業名	主担当課 副担当課	事業概要	平成30年度	令和元年度実績	令和2年度予定	進捗度	令和3年度予定	成果・課題など	見直し	今後の対応 【一部見直し、見直しの場合】
40	次世代型農水産業への参入支援	企業立地推進G	・補助金や用地情報の提供など、次世代型農水産業への企業参入の環境づくり	・用地情報の提供及び補助制度の紹介 (企業訪問49件)	・用地情報の提供及び補助制度の紹介 (企業訪問53件)	・用地情報の提供及び補助制度の紹介 (企業訪問4件:8月末現在)	A	・用地情報の提供	・平成28年度から計7社の企業を誘致		一部の効果が得られたため、市単独の補助制度については、そのあり方の検討をする
41	次世代型農水産業の誘致	企業立地推進G	・省力化技術、ICT技術を活用した次世代型農水産業の誘致	・誘致活動、企業との折衝	・次世代農水産業にかかる企業誘致 (企業誘致2件)	・誘致活動、企業との折衝 (企業誘致1件)	A	・継続(同左)	・製造業に続く新たな産業の柱の創出を目指す		
42	販路開拓・販売力の強化支援	企業立地推進G 産業振興G	・農商工業者の連携のきっかけづくりや6次産業化の取り組みの強化	・次世代農水産業の販路開拓及びマッチング(産業振興フェアを利用)	・セブンイレブンとの商品開発 ・食品バイヤーとの個別商談会実施 ・企業訪問、マッチング機会の提供 ・磐田版おせっかいモデルの活用	・食と農を起点とした取り組みの実施 ・食品バイヤー等との個別商談会実施 ・企業訪問、マッチング機会の提供 ・磐田版おせっかいモデルの活用	A	・継続(同左)	・市内企業との連携促進		
43	農工連携の推進	企業立地推進G 産業振興G	・輸送用機械器具製造業で培った「ものづくり技術」の農業への応用(農業用ロボット開発など)	・次世代農業フォーラムの開催(産業振興フェア内で実施)	・マッチング機会の提供 ・磐田版おせっかいモデルの活用	・マッチング機会の提供 ・磐田版おせっかいモデルの活用	B	・継続(同左)	・市内企業との連携促進		

数値目標と効果

指標(効果)	基準値(平成27年度末)	最新値(令和元年度末)	目標値(令和3年度末)
次世代型農水産業への参入企業数 (雇用の創造・既存産業とのマッチング機会の増加)	1社	6社	5社(5年累計)

基本目標 3 未来をひらく新たな産業を創出します！（企業立地・新産業・創造）

3-2 進捗度

A：順調，  
75%

B：概ね順調，  
25%

施策 3-2 企業立地の推進

No	事務事業名	主担当課 副担当課	事業概要	平成30年度	令和元年度実績	令和2年度予定	進捗度	令和3年度予定	成果・課題など	見直し	今後の対応 【一部見直し、見直しの場合】
44	ワンストップサービスによる企業立地の推進	企業立地推進G 産業振興G	・企業からの各種相談、要望への対応、事業用地情報などの提供	・企業訪問、対応1,040件 ・がんばる企業応援団の活用 ・市内への新規立地5件	・企業訪問、対応1,037件 ・がんばる企業応援団の活用 ・法令等に対するワンストップ対応 ・市内への新規立地6件	・企業訪問、対応407件(8月末) ・がんばる企業応援団の活用 ・法令等に対するワンストップ対応 ・市内への新規立地5件(8月末)	A	・継続(同左)	・新たな工業用地の開発が課題		
45	新産業創出等を支援する機関との広域連携の推進(No.22再掲)	産業振興G	・次世代自動車、新エネルギー、航空宇宙など新規分野参入に意欲のある企業が集い、イノベーションを促進	・ものづくり企業交流会(H31.3.15、参加者82名) ・低速自動運転車両の実証実験に関する連携協定締結 ・企業懇話会全7回開催(次世代自動車の技術動向セミナー等)	・広域連携推進事業の実施(次世代自動車センター等を含む) ・低速自動運転車両の実証実験開始(7月から御厨駅北側地区でスタート) ・企業懇話会との連携	・広域連携推進事業の実施(次世代自動車センター等を含む) ・低速自動運転車両の実証実験実施(御厨駅北側地区で継続) ・ロボット教示スクール実施	A	・継続(同左) ロボット教示スクールは見直し	・浜松地域イノベーション推進機構等と連携して、新産業創出、新分野参入に関する事業を実施 ・低速自動運転車両の実証実験について順次ステップを踏んで実施		
46	新規立地・工場増設・設備投資への支援	企業立地推進G	・産業立地補助金の拡充	・産業立地促進事業費補助金5件 ・産業立地奨励補助金3件 ・先端設備等導入計画77件	・産業立地促進事業費補助金7件 ・産業立地奨励補助金8件 ・先端設備等導入計画75件	・補助金交付要綱の検討 ・産業立地促進事業費補助金4件 ・産業立地奨励補助金7件 ・生産性向上特別措置法による税制支援 ・先端設備等導入計画11件(8月末現在)	A	・継続(同左)	・用地を求める企業の把握と移転に伴う雇用の確保支援が課題		
47	企業ニーズに沿った新たな工業用地の整備検討	企業立地推進G	・企業の進出や民間の工業用地整備の支援、産業用適地の具体化	・実績なし ※下野部工業団地への企業誘致を優先したため	・企業ニーズの調査 ・開発候補地の選定 ・開発手法の検討 ・新東名スマートIC設置の進捗確認 ・産業適地調査	・企業ニーズの調査 ・民間工業用地整備の支援 ・開発事業者の公募	B	・継続(同左)	・進出企業誘致、開発事業者及び開発地選定、地元調整等が課題		



将来像「魅力産業創造都市いわた」

3-3 進捗度

基本施策

基本目標 3 未来をひらく新たな産業を創出します！（企業立地・新産業・創造）



施策 3-3 創業・起業の支援

No	事務事業名	主担当課 副担当課	事業概要	平成30年度	令和元年度実績	令和2年度予定	進捗度	令和3年度予定	成果・課題など	見直し	今後の対応 【一部見直し、見直しの場合】
48	ワンストップ窓口の設置	雇用促進G	ワンストップ窓口及び専門家による相談窓口、第二創業窓口の設置	・ワンストップ窓口を常設(7件) ・専門家相談窓口をワークピア内に設置(相談実施回数175回、相談者166人)	・ワンストップ窓口を常設(12件) ・専門家相談窓口をワークピア内に設置(相談実施回数158回、相談者155人)	・ワンストップ窓口を常設 ・専門家相談窓口をワークピア内に設置	A	継続(同左)	・気軽に相談できる窓口として、国や県の補助金やチャレンジサポーター磐田の支援内容を紹介し、相談者のニーズに合った情報を提供 ・地域創生起業支援金申請のための市町意見書の作成や事業計画書のチェックなどを実施		
49	チャレンジサポーター磐田を活用した支援	雇用促進G	金融機関等と情報共有、連携し、創業段階に応じた支援を実施	・創業相談窓口、セミナー、ビジネスコンテストなどの創業支援事業を実施 ・特定創業支援事業を受けた創業者の認定業務 ・専門家派遣制度を磐田商工会と連携して実施	・創業相談窓口、セミナー、ビジネスコンテストなどの創業支援事業を実施 ・創業支援ネットワーク会議年2回開催 ・創業支援等事業計画の変更(R1.12.20) ・チャレンジサポーター磐田創業支援メニューパンフレットの更新	・創業相談窓口、セミナー、ビジネスコンテストなどの創業支援事業を実施 ・創業支援ネットワーク会議年2回開催予定	A	・創業相談窓口、セミナー、ビジネスコンテストなどの創業支援事業を実施 ・創業支援ネットワーク会議開催	・創業支援等事業計画に基づき、創業サポーターが連携し、創業支援を実施 ・磐田市創業支援事業計画の変更申請により、計画期間をR2.3.31まで延長		
50	女性起業家育成事業	雇用促進G	起業を目指す、または起業後5年未満の女性対象の実践的な講座の開催	・はじまりセミナー実施(全8回、参加者15名) ・MONOづくりワークショップ開催(H30.7.29)	・はじまりセミナー実施(全7回、参加者9名) ・MONOづくりワークショップ開催(R1.7.28) ・事業計画書をつくるコツ(フォローアップセミナー)実施 ・静岡県信用保証協会との連携により、学びなおしと事業体験ができるセミナー「女性起業家サポートセミナー」「ちあふるマルシェ」を開催	・はじまりセミナー実施 ・MONOづくりワークショップ開催 ・ワークピア磐田祭と同時開催予定 ・起業家紹介パンフレットを作成	A	・はじまりセミナー実施 ・MONOづくりワークショップ開催	・連携強化のため、イベント開催時に起業家同士の交流を実施 ・起業に結びつけるため、セミナー終了後にフォローアップ講座を開催 ・POP研究会など、各種起業に参考となる講座を指定管理自主事業として企画開催		
51	インキュベーション施設の設置	雇用促進G	ワークピア磐田と連携したコワーキングスペースとレンタル型チャレンジショップの開設	・オフィス、キッチン、BOXスペースの管理運営	・起業テーマに合わせたセミナーやワークショップを開催し、様々なネットワークを構築(はじまりのはじマルシェ、AI勉強会など)	・起業テーマに合わせたセミナーやワークショップを開催し、様々なネットワークを構築	A	継続(同左)	・はじまりキッチンの利用促進のため、より利用しやすい料金を設定 ・はじまりのオフィスを利用した起業を応援するためのイベントを開催		
52	起業ビジネス情報冊子作成事業	雇用促進G	起業後に必要な解決ポイントを集約した冊子の検討、作成	・コワーキングスペースの利用者を増やすためのPR活動	・施設の利用促進と人材及び起業者の発掘 ・静岡県産業振興財団が作成した創業ガイドブックを利用	・施設の利用促進と人材及び起業者の発掘 ・起業家を紹介するパンフレットを作成	B	・施設の利用促進と人材及び起業者の発掘	・起業事例の収集と情報提供		
53	開業資金保証料補給	雇用促進G 産業振興G	創業時の設備資金、運転資金の借入れに対する信用保証料の負担	・県と同様の助成制度を設立することが判明	予定なし	予定なし	D	予定なし	・県が同様の事業を創設したため、一時検討を中止し、制度の成果を注視	全部	・県が同様の事業を創設したため、制度の成果を注視

将来像「魅力産業創造都市いわた」

重点施策

基本目標 4 次代を見据えた人材育成・確保を支援します。(人材・雇用)

4-1 進捗度



施策 4-1 産業を担う技術者等の育成

No	事務事業名	主担当課 副担当課	事業概要	平成30年度	令和元年度実績	令和2年度予定	進捗度	令和3年度予定	成果・課題など	見直し	今後の対応 【一部見直し、見直しの場合】
54	子ども技術者育成事業	雇用促進G	ロボカップジュニア大会など小中学生のものづくり体験等の提供	・ロボカップ体験教室等(12回実施) ・親子ふれあい木工教室(H30.8.19)	・ロボカップ体験教室等(10回実施) ・親子ふれあい木工教室(R1.8.25)(23家族、68名参加)	・ロボカップ体験教室等(7回実施予定) ・親子ふれあい木工教室(新型コロナウイルスの影響により中止)	A	・ロボカップ事業及び中遠建築職業訓練校開催事業の支援	・ロボカップ教室の練習会場確保を支援し、全国大会へ出場するレベルを維持		
55	人材育成推進事業	雇用促進G	・支援機関との連携によるものづくり現場の技術習得のためのセミナー等の開催 ・人材育成メニューや助成制度の紹介	・雇用創造事業でセミナーの実施(7回 受講者数112名) ①5S・安全衛生職場改善の基本※2回開催 ②品質の基礎知識※2回開催 ③工業材料の基礎 ④プレス・鍛造の基礎 ⑤切削加工・研削加工の基礎	・雇用創造事業でセミナーの実施(9回 受講者数166名) ①5S・安全衛生職場改善の基本※2回開催 ②事故を無くす安全衛生活動※2回開催 ③品質管理基本※2回開催 ④工業材料の基礎 ⑤プレス・鍛造の基礎 ⑥切削加工・研削加工の基礎	雇用創造事業でセミナーの実施(9回予定) ①5S・安全衛生職場改善の基本 ※2回開催 → 中止 ②事故を無くす安全衛生活動 ※2回開催 ③品質管理基本 ※2回開催予定 → 時期・内容の変更を検討中 ④工業材料の基礎 ⑤プレス・鍛造の基礎 ⑥切削加工・研削加工の基礎 ※④～⑥ → 実施を検討中	B	・実施内容について検討	・企業ニーズに応じた支援メニューの展開		
56	人材交流支援事業	雇用促進G	・支援機関や民間人材紹介会社などと連携し、海外技術者、大手企業等のOB人材と中小企業等とのマッチングを支援 ・留学生の就業支援	・外国人活躍促進セミナーを実施(H30.9.12、参加者31名) ・中小企業等とベトナム産業人材との交流事業(H30.10.18～10.22、参加企業7社) ・留学生対象の市内企業見学バスツアーを開催(H30.11.24、参加企業数5社8名、参加学生数3校17名) ・高校生と中小企業の経営者との交流(H31.2.19、参加企業数6社8名、参加学生41名)	・中小企業等とベトナム産業人材との交流事業(R1.11.20～11.24、参加企業5社) ・学校の留学生担当者や中小企業等との交流会を開催予定(R1.11.9、企業12社14名、大学・専門学校9校12名) ・高等学校と市内企業との交流授業(磐田南高:R1.12.10、参加企業数6社8名、参加生徒40名、磐田西高:R2.2.12、参加企業6社12名、参加生徒37名)	【ベトナム産業人材との交流事業(海外人材確保)】 ・国や県が実施する事業に対する市内企業の参加促進 【高等学校と市内企業との交流授業】 ・市内公立高校全校に事業を拡充し、より多くの市内企業との交流の機会を提供	A	・国や県が実施する事業に対する市内企業の参加促進 ・高校生と市内企業との交流の場を提供	・磐田市がモデルケースとなり、国・県が事業を実施するため、市内企業の参加を促進する側面的な支援に移行する		
57	職業訓練仕組みづくりの検討	産業振興G	既存の環境を活用した職業訓練の仕組みづくりを検討	製造中核人材育成事業(5社参加※全37社中5社が磐田市企業)	継続(同左) (3社参加※全30社中3社が磐田市企業)	継続(同左)	A	継続(同左)	・浜松地域イノベーション推進機構の広域連携事業において、製造中核人材育成事業を実施		
58	ものづくり系の人材教育機関の誘致	産業振興G 企業立地推進G	理工系教育機関の誘致	企業ニーズの調査 ※がんばる企業応援団による調査	情報の収集	情報収集の継続等	C	継続(同左)	・理工系教育機関誘致は、一定の企業ニーズがあり、情報収集を継続		

数値目標と効果

指標(効果)	基準値(平成27年度末)	最新値(令和元年度末)	目標値(令和3年度末)
人材育成メニュー受講者数 (技術者等の知識・技能向上)	133人/年	302人/令和元年度	750人(5年累計)

基本目標 4 次代を見据えた人材育成・確保を支援します。(人材・雇用)

4-2 進捗度

A：順調、  
78%

B：概ね順調、  
22%

施策 4-2 就労の支援

No	事務事業名	主担当課 副担当課	事業概要	平成30年度	令和元年度実績	令和2年度予定	進捗度	令和3年度予定	成果・課題など	見直し	今後の対応 【一部見直し、見直しの場合】
59	就労支援ネットワーク強化事業	雇用促進G	・市、労働局、ハローワーク、静岡県及びしずおかジョブステーションとの連携体制強化	・ワークピアでの出張相談(H30.11.14) ・浜松地域若年者就労支援推進協議会実施予定 ・静岡労働局と雇用対策協定を締結(H30.7.13) ・協定に基づき運営協議会を実施(H31.3.7)	・ワークピアでの出張相談(R1.11.13) ・浜松地域若年者就労支援推進協議会実施(R1.9.6) ・静岡労働局と雇用対策協定に基づく運営協議会を実施(R2.2.26)	・ワークピアでの出張相談(R2.11.11) ・浜松地域若年者就労支援推進協議会実施(R2.9.11) ・静岡労働局と雇用対策協定に基づく運営協議会を実施	A	・継続(同左)	・関係機関との連携強化により、効果的な事業内容の検討が必要		
60	職業総合相談	雇用促進G	・ワークピア磐田にて労働環境などの職業に関する相談業務を実施	・相談業務(毎週火～土曜日)を実施(279件)	・相談業務(毎週火～土曜日)を実施予定	・相談業務(毎週火～土曜日)を実施予定	A	・継続(同左)	・複雑化する相談内容への対応と相談窓口の更なる周知		
61	勤労者向け協調融資制度貸付金	雇用促進G	・市内居住勤労者を対象とした、住宅の建設及び教育資金を静岡県労働金庫と連携し貸付	・住宅建設資金貸付(22件、209,800千円) ・教育資金貸付(9件、16,100千円)	・住宅建設資金貸付(17件、147,800千円) ・教育資金貸付(9件、15,300千円)	・申請受付、承認	A	・継続(同左)	・若年層の利用促進及び市の定住人口増加のため、労金と連携し償還期間の延長を実施		
62	勤労者福祉サービスセンター支援事業	雇用促進G	・労働者の福利厚生事業を提供する勤労者福祉サービスセンターへ補助金を交付	会員数4,970人(335事業所)※H31.3.31現在 補助金8,000,000円交付 4月 4,000,000円 9月 4,000,000円	会員数4,924人(336事業所)※R2.3.31現在 補助金8,000,000円交付 4月 4,000,000円 9月 4,000,000円	補助金8,000,000円交付 4月 4,000,000円 9月 4,000,000円	A	・継続(同左)	・新規会員数の増加のため、商工団体の会員向けに勧誘を強化		
63	就労・起業啓発事業	雇用促進G	・高校生を対象とした勤労啓発事業の強化 ・民間団体等が実施する子ども職業体験事業へ補助金を交付	・小、中学校への講師派遣(4校、講師20名) ・子ども職業体験事業補助金交付 250,000円	・高校生対象の市内企業見学バスツアー(R1.12.23 3社見学 6校19名参加) ・高校と企業の交流授業(磐南 R1.12.10 6社、生徒40名、教員4名) ・磐西 R2.2.12 6社、生徒37名、教員5名) ・小、中学校への講師派遣(5校、講師12名) ・子ども職業体験事業補助金交付 250,000円	・高校生対象の市内企業見学バスツアー(R2.12.25開催予定)及び企業との交流授業開催(R2.10～R3.2市内公立高校4校開催予定) ・小、中学校への講師派遣(随時) ・子ども職業体験事業補助金交付 250,000円	A	・継続(同左)	・就労、起業啓発事業(講師派遣事業)の実施方法変更による実績確認と検討		
64	いわた就職フェアの開催	雇用促進G	・新卒者等を対象にした大規模な就職説明会の開催	・いわた、ふくろい就職フェア開催(H30.4.7、参加企業数104社、参加学生数157名)	・いわた、ふくろい就職フェア開催(H31.4.4、業110社、参加学生137名) ・いわた、ふくろい業界研究フェア開催(R1.12.14、参加企業19社、参加学生14名)	・いわた、ふくろい就職フェア開催予定(R3.2.26、参加企業50社程度を予定) ・いわた、ふくろいインターンシップWEB企業説明会開催予定(R2.12月初旬、参加企業15社程度を予定)	B	・継続(同左)	・企業と学生が早期に接点を持ち、その後の就職(採用)に繋がる仕組みづくりが必要		
65	インターンシップ推進事業	雇用促進G	・企業のインターンシップ受入れ情報を集約、発信	・企業のインターンシップ受入れ情報を集約し、大学及び学生へ発信(登録企業数8社)	・企業のインターンシップ受入れ情報を収集し、大学への案内、Webサイトでの紹介を実施 ・インターンシップセミナーの開催(R1.10.25、参加企業3社) ・インターンシップ情報冊子の作成(市内企業等28社掲載)	・企業のインターンシップ受入れ情報を収集し、大学への案内、Webサイトでの紹介を実施 ・「新しい人事・採用WEB導入セミナー」の開催(R2.9.9、参加企業34社) ・インターンシップ情報冊子の作成(市内企業等24社掲載)	B	・継続(同左)	・インターンシップを実施している企業の発掘		
66	障がい者、若者就労等支援事業	雇用促進G	・障がい者就労支援、若者(ニート)就労支援 ・外国人向け日本語教室開催	・障がい者就労支援セミナーの開催(H31.1.17) ・若者就労支援サポーター養成研修の開催(H31.1.19) ・若者就労支援セミナーの開催(H31.2.16)	・障がい者就労支援セミナーの開催 ・若者就労支援サポーター養成研修の開催 ・若者就労支援セミナーの開催 ・転職・再就職相談カフェの初開催(R1.10.26、参加企業9社、参加者16名)	・障がい者就労支援セミナーの開催 ・若者就労支援サポーター養成研修の開催 ・若者就労支援セミナーの開催 ・転職・再就職相談カフェの開催(第1回：R2.10.24、参加企業6社を予定、第2回：R3.2.20、参加企業6社程度を予定)	A	・継続(同左)	・障がい者雇用への企業の理解を深めるための啓発事業の継続		
67	人材交流支援事業(No.56再掲)	雇用促進G	・支援機関や民間人材紹介会社などと連携し、海外技術者、大手企業等のOB人材と中小企業等とのマッチングを支援 ・留学生の就業支援	・外国人活躍促進セミナーを実施(H30.9.12、参加者31名) ・中小企業等とベトナム産業人材との交流事業(H30.10.18～10.22、参加企業7社) ・留学生対象の市内企業見学バスツアーを開催(H30.11.24、参加企業数5社8名、参加学生数3校17名) ・高校生と中小企業の経営者との交流(H31.2.19、参加企業数6社8名、参加学生41名)	・中小企業等とベトナム産業人材との交流事業(R1.11.20～11.24、参加企業5社) ・学校の留学生担当者や中小企業等との交流会を開催予定(R1.11.9、企業12社14名、大学・専門学校9校12名) ・高等学校と市内企業との交流授業(磐田南高：R1.12.10、参加企業数6社8名、参加生徒40名、磐田西高：R2.2.12、参加企業6社12名、参加生徒37名)	【ベトナム産業人材との交流事業(海外人材確保)】 ・国や県が実施する事業に対する市内企業の参加促進 【高等学校と市内企業との交流授業】 ・市内公立高校全校に事業を拡充し、より多くの市内企業との交流の機会を提供	A	・国や県が実施する事業に対する市内企業の参加促進 ・高校生と市内企業との交流の場を提供	・磐田市がモデルケースとなり、国・県が事業を実施するため、市内企業の参加を促進する側面的な支援に移行する		

将来像「魅力産業創造都市いわた」

基本施策

基本目標 4 次代を見据えた人材育成・確保を支援します。(人材・雇用)

4-3 進捗度



施策 4-3 UIJターン就職の促進

No	事務事業名	主担当課 副担当課	事業概要	平成30年度	令和元年度実績	令和2年度予定	進捗度	令和3年度予定	成果・課題など	見直し	今後の対応 【一部見直し、見直しの場合】
68	ワンストップ窓口の設置	雇用促進G	・磐田市魅力発信 ・住環境情報提供 ・学生と企業のマッチング支援	・魅力発見フェアin名古屋(中京圏業界研究会)(H31.2.13)を開催し、磐田市PRブースを設置	・魅力発見フェア(中京圏業界研究会)(R2.2.13)を開催し、磐田市PRブースを設置予定	・魅力発見フェア(中京圏業界研究会)(R3.2月)を開催し、磐田市PRブースを設置予定	A	・継続(同左)	・浜松市及び湖西市との広域連携の強化、学生への周知 ・中京圏の大学とのコネクション作り		
69	就職促進事業	雇用促進G	・市内企業見学会の開催 ・就職希望者、保護者向けセミナーの開催	・市内企業を訪問するバスツアー(H30.8.28,29)を開催	・市内企業を訪問するバスツアーを開催(R1.8.26,27、参加企業4社、参加学生17名) ・保護者向けの就職情報冊子の作成及び提供	・市内企業を訪問するバスツアーを開催予定→新型コロナウイルスの影響により中止 ・保護者向けの就職情報冊子のWEB版を専用サイトに掲載	A	・継続(同左)	・受入企業の公募・選定 ・保護者向けの就職情報冊子を作成し広く情報発信を行った。引き続き広く情報発信し、学生の就活状況を保護者にも伝えていくことが必要		
70	人材確保支援事業	雇用促進G	・企業採用担当者を対象にPR戦略セミナー、カフェミーティング等の開催	・企業採用担当者向けセミナー(H30.10.24)を開催	・過去のセミナー開催等により一定の成果が得られたこと、民間のセミナー開催の機会が増えてきていることから、市の事業としての実施はなし	・WEBを活用した人事・採用の需要が高まってきたため、企業向けにセミナーを開催「新しい人事・採用 WEB導入セミナー」(R2.9.9、参加企業34社) ・いわた雇用奨励金の実施	A	・検討	・これまでの事業実施により、一定の成果は上がったため中止としたが、コロナ禍における企業のWEBを活用した人事・採用の需要が高まってきたため、セミナーの開催等により、企業に情報発信をしていくことが必要		
71	首都圏等での市内企業就職面接会の開催	雇用促進G	・関東、中京圏の学生と市内企業を結び就職マッチングを実施	・UIJ各事業を掲載した学生登録カードの作成、配布による、一括した事業PRの実施 ・中京圏の大学学内を会場に業界企業研究会(H30.12.20)を開催 ・3市連携での首都圏業界研究(H31.2.23)を開催 ・首都圏人材と中小企業との交流会	・中京圏学内業界研究会(愛知大学豊橋キャンパス:R1.10.17、参加企業10社、参加学生25名、中部大学:参加企業2社)を開催	・中京圏学内業界研究会を開催予定 →新型コロナウイルス感染症の影響により中止	A	・継続(同左)	・中京圏大学との連携強化による学生への周知		
72	インターンシップ推進事業 (No.65再掲)	雇用促進G	・企業のインターンシップ受入れ情報を集約、発信	・企業のインターンシップ受入れ情報を集約し、大学及び学生へ発信(登録企業数8社)	・企業のインターンシップ受入れ情報を収集し、大学への案内、Webサイトでの紹介を実施 ・インターンシップセミナーの開催(R1.10.25、参加企業3社) ・インターンシップ情報冊子の作成(市内企業等28社掲載)	・企業のインターンシップ受入れ情報を収集し、大学への案内、Webサイトでの紹介を実施 ・「新しい人事・採用 WEB導入セミナー」の開催(R2.9.9、参加企業34社) ・インターンシップ情報冊子の作成(市内企業等24社掲載)	B	・継続(同左)	・インターンシップを実施している企業の発掘		
73	中京圏就職サポートセンター設置、広域連携の検討	雇用促進G	・県西部地域の就職情報発信拠点を中京圏に広域連携にて設置を検討	・県がサポートデスクを設置	・県の事業展開の把握	・県の事業展開の把握	D	・継続(同左)	・県が設置したサポートデスクの現状把握と連携方法の模索	全部	・県が同様のサポートデスクを設置したため、当面は状況を見守る